

経営比較分析表（令和元年度決算）

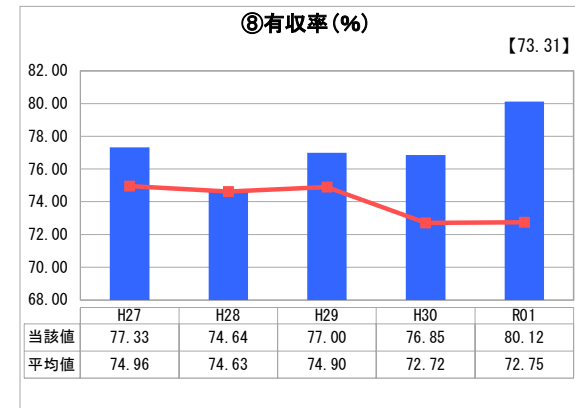
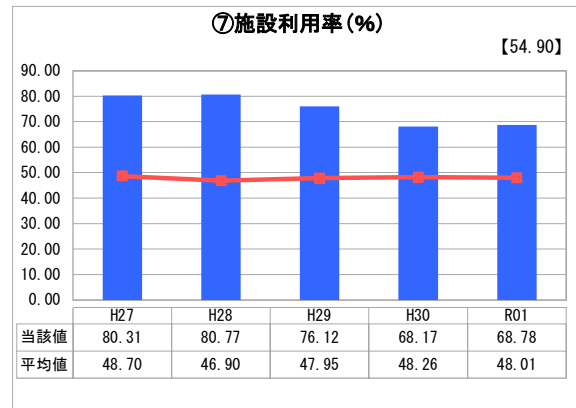
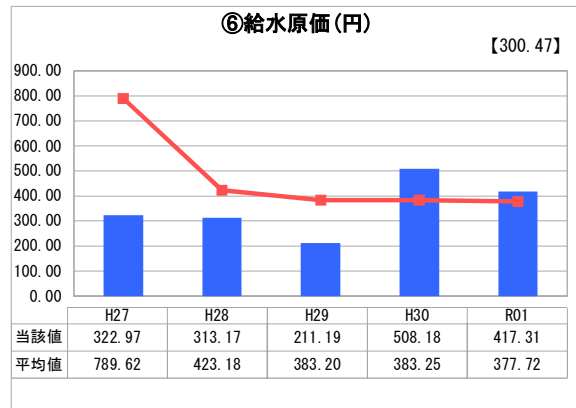
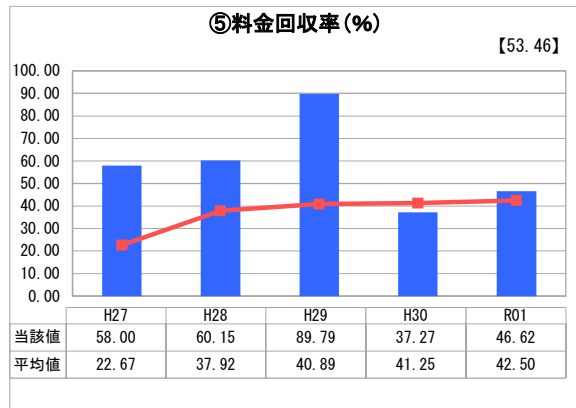
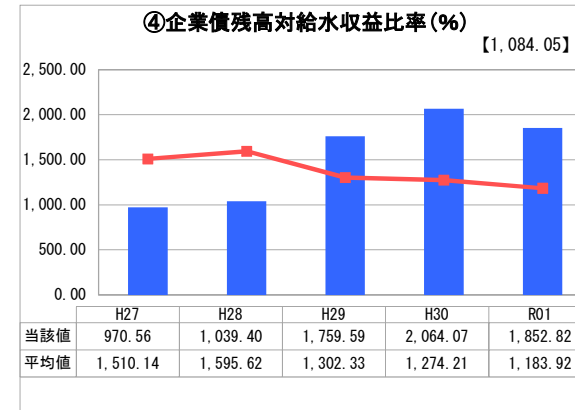
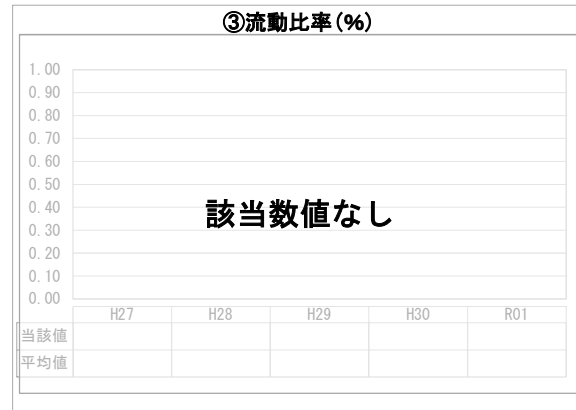
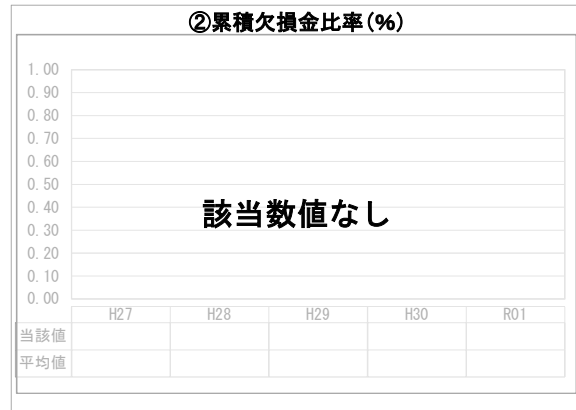
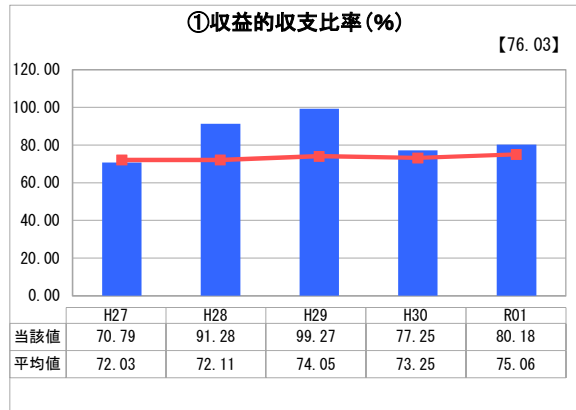
和歌山県 古座川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	35.45	3,210	

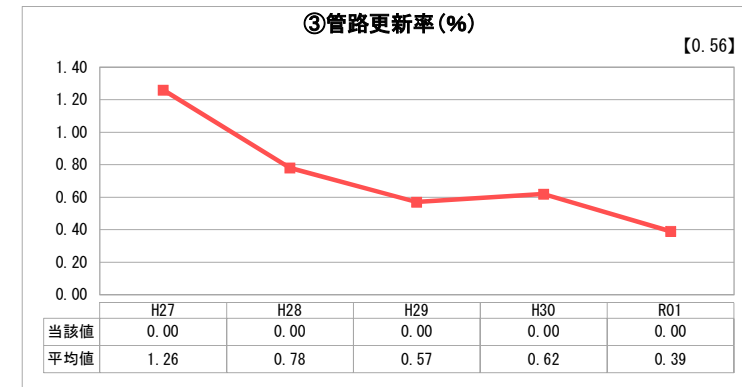
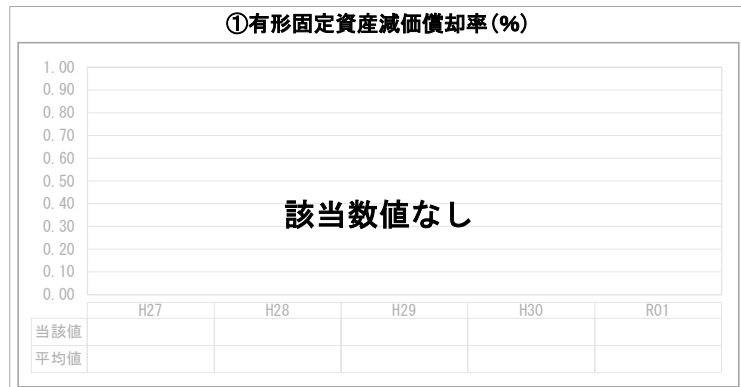
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,642	294.23	8.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
927	2.67	347.19

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成30年度は給水車の購入により、総費用が増加していたが、当年度は大きな支出が無く、総費用が減少したため、平成30年度に対し、やや高い比率となっている。

④企業債残高対給水収益比率
平井簡易水道施設の稼働により、料金収入が増加したため（平成30年11月給水開始のため、平成30年度は5か月分みの収入増であった）、平成30年度より減少している。

⑤料金回収率
給水原価の減少により、改善されている。

⑥給水原価
平成30年度は給水車の購入により、総費用が増加していたが、当年度は大きな支出が無く、総費用が減少したため、給水原価も減少している。

⑦施設利用率
類似団体よりも高い水準となっており、施設が効率的に利用されている状態である。

⑧有収率
漏水修繕により、平成30年度に対し、約3%の改善となった。近年は減少傾向にあり、施設更新、漏水修繕に伴う予算確保が必要である。

2. 老朽化の状況について

古座川町簡易水道事業のほとんどの施設は、昭和40、50年代に建設した施設であり、老朽化している。令和2年度末に三尾川簡易水道施設の場内配管の更新を予定しており、現在作業中。

全体総括

各施設が老朽化してきており、平成26年度以降漏水が原因で有収率も減少傾向にあるため、今後は更新していかなければならないが、その更新に伴う予算確保が必要である。